

令和7年度 台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	りゅうせん地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	11
7	ほうらい地域包括支援センター	13

令和 7 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 フレスコ会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	相談業務の中で、ご家族等から「地域包括支援センターがどのようなことをしてもらえるかが分からなかった」との声が多く聞かれた。
②	認知症総合支援事業	認知症を患っても、住み慣れた家で生活が続けられるようなきめ細かな情報発信や介護者側への支援が行き届いていない。「情報発信」と「交流の場」を整備する必要がある。
③	総合相談支援業務	複雑な課題をかかえている方が増えている。今後の地域包括支援センターとして重層的な支援が求められていることから、世代を超えた相談ができる窓口として活動できるよう準備を進めていく必要がある。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	身近な相談窓口として地域包括支援センターを知ってもらう。	計画	各500部 配布	担当するエリアの区民に対して広報誌を年2回配布する。また、賃貸物件の大家さん・マンション管理人さんへ向けても年2回手渡しを行い顔の見える関係づくりを行う。
		報告		
②	認知症カフェ及び家族介護者支援の会を開催	計画	隔月開催 年6回	認知症カフェ（まちなかカフェあさくさ）の単独開催を行い、地域住民にとって身近な物忘れの相談窓口であることを知ってもらう。また家族介護者支援についても、関係機関と連携を行い交流の場を開催していく。
		報告		
③	多世代交流サロン「ここからあさくさ」の開催	計画	隔月開催 年5回	世代を超え、地域住民同士が繋がり合える場を整備する。体操や講話等を通して自助・共助の力を高めていく。また、日本堤子ども家庭支援センター等の関係機関と協力し、ヤングケアラー等の早期発見もしていきたい。令和7年度は6回を予定（隔月おき）
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士			
1	常	40				○	○		○	9	○	○
2	常	40	○			○	○	○		8	○	○
3	常	40			○					1	○	○
4	常	40		○				○		1	○	○
5	常	40							○	1		
6	常	40				○		○		1	○	○
7	常	40	○			○	○	○		6	○	○
8												
9												
10												

令和7年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士			
1	常	40				○	○		○	10	○	○
2	常	40	○			○	○	○		9	○	○
3	常	40			○		○			2	○	○
4	常	40		○						2	○	○
5	常	40					○		○	2	○	○
6	常	40					○		○	2	○	○
7	常	40	○				○	○	○	7	○	○
8												
9												
10												

その他の資格・・・

その他の資格・・・

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	令和6年度は親族のいない単身高齢者の相談や安否確認等の対応が多かったことを踏まえ、令和7年度は単身高齢者の方をケースとして取り上げ、個別課題の発見、社会資源の発掘につなげていく。	2回				①準備・開催・報					②準備・開催・報				
	報告										①モニタリング					
主催																
見守りネットワーク地区連絡会	計画	前年度の見守り地区連絡会の実績から、ヤングケアラーに対する興味・関心が高いことが分かった。その為、令和7年度も同じテーマで開催し、関係協力機関との連携を強化する。また、地域住民をはじめとし顔なじみの関係を作り、ネットワークの強化も目指していく。	2回				①準備・開催・報告					②準備・開催・報告				
	報告															
主催																
広報誌「えがおいっぱい浅草」発行	計画	見守り関係機関・地域住民向けに地域包括支援センターの周知とネットワークづくりの為に年2回配布を行う。特につながりの希薄化がみられるひとり暮らしの方への配布を強化する。	2回 各500部	①準備・発行						②準備・発行						
	報告															
主催																
見守り事業の促進	計画	ハローライト事業について、見守りが必要な高齢者に、積極的に事業の活用を促し、見守りの強化や事業の効果的な運用を図る。	通年 5人													
	報告															
実施																
多世代交流サロン「ここからあさくさ」	計画	まちかどカフェあさくさ（認知症カフェ事業）と連携し、参加者の心身の健康増進を目的に体操教室や家族介護者教室も行えるように準備を進めていく。	5回 （延べ50人）			①		②		③		④		⑤		
	報告			準備	準備	開催	準備	開催	準備	開催	準備	開催	準備	開催		
主催																

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネ ジャー の集い	計画	ケアマネジャーが民生委員や医療機関などとのつながりや相互理解を深めることを目的とした事例検討会等を開催する。（※内2回は7包括合同開催）	4回			①準備・開催・報告				③準備・開催・報告						
	報告					②7包括合同				④7包括合同						

項目		内 容	人数・数量 など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ （まちかどカフェ あさくさ）	計画	令和7年度からあさくさ地域包括支援センター単 独で開催。隔開催で開始し状況を見て毎月開催を 目指す。民生委員や町中にある薬局にチラシを置 いていただき、普及啓発を強化したい。	6回 （延べ60 人）	<div>① ←→ ② ←→ ③ ←→ ④ ←→ ⑤ ←→ ⑥</div> <div>※準備・開催・振り返り</div>												
	報告															
主催																
認知症 サポーター 養成講座	計画	地域住民・町会・一般企業に対し認知症の普及啓 発を行っていく。エリア内に大規模な仲見世商店 街があるので令和7年度は商店街を中心として活 動をしていきたい。	10名程度	<div>←→ ①開催 ②開催 →</div>												
	報告															
主催																
認知症初期集中 支援推進事業	計画	事業の構成メンバーとして、対象者の把握から初 期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげて いく。	1事例	<div>←→ →</div>												
	報告															
実施																
認知症の普及・ 啓発活動	計画	「認知症月間」に合わせて認知症の普及・啓発活 動を行う。令和7年度は施設内外でのチラシ・パ ネル展示の設置を重点的に行う。		<div>←→ 準備・実施 ①実施</div>												
	報告															
主催																
	計画															
	報告															
項目		内 容	人数・数量 など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	報告															
	報告															

◇今年度の重点課題

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

◇地域包括支援センター人員体制状況

[illegible]

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 4,197人 （令和7年1月1日時点） やなか 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画	個別課題のあるケースについて、地域住民や専門職等が集まり、お互いの立場を理解しながら課題解決や支援方法を検討する。	2回			➡①					➡②				
						準備・開催				準備・開催		評価	①		
主催	報告														
見守りネットワーク地区連絡会	計画	包括圏域内の現状や実績報告を行い、事例検討を通じて地域課題について検討する。支援が必要な人が声をあげやすい様に、民生委員や関係協力機関等と相互に連携しながら、円滑な関係づくりを継続していく。	2回		➡①					➡②					
				準備・開催						準備・開催					
主催	報告			報告	➡①					報告	➡②				
広報誌の発行・ホームページの活用	計画	包括の周知、介護保険制度や介護予防の啓発など年2回テーマに沿って広報誌を作成し、関係協力機関、マンション管理人、金融機関、医療機関等へ配布する。法人のホームページでは行事のお知らせ等を随時掲載する。	2回配布	広報①						②					
			ホームページ	➡年間通じてホームページ更新											
主催	報告														
出前講座	計画	町会の集まりや高齢者が集まる場などに積極的に出向き、地域包括支援センターの役割や消費者被害の防止、介護予防などの情報提供を行う。	通年	➡出張できることを周知し、依頼に応じて随時対応											
共催・主催	報告														

＜ケアマネジャー支援＞ エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 9名 （令和7年1月1日時点）

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画	区内・隣接区のケアマネジャーと事例検討会や勉強会を通して、地域資源の共有等を行う。また各専門職との連携強化を目的とした7包括合同の研修会を開催する。	4回		➡①					➡③					
						合同	➡			②	合同	➡		④	
共催・主催	報告														
	計画														
	報告														

＜認知症総合支援事業＞ やなか 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ（カフェやなか）	計画	【土田病院（精神科）】参加者が気軽に交流を図る事ができるように、土田病院スタッフ・地域住民・当事者・認知症サポーターと協力して、プログラムを検討する。また、家族介護者同士が悩みや不安を共有できる場所づくりを検討する。	6回60人（延べ）	①		②		③		④		⑤		⑥	
				➡年間通じて周知											
主催・共催	報告														
認知症サポーター養成講座	計画	気軽に参加できるように、町会や地域住民、関係機関、マンション管理人、企業等へ養成講座の内容をわかりやすく周知する。また少人数開催の依頼にも対応していく。受講したサポーターが地域で活動できるように認知症カフェや出前講座等の協力依頼を呼びかけて、共に認知症に理解のある地域づくりを行っていく。	2回以上	➡年間通じて周知											
					①									②	
主催	報告														
認知症初期集中支援推進事業	計画	初期集中支援チームの一員として、事業の対象となるケースを選定して、関係機関と連携しながら適切な支援に繋げていく。	1ケース以上	➡											
実施	報告														
認知症の実態把握・早期対応	計画	認知症の疑いがある高齢者を早期に発見するために、マンションの管理人や民生委員、地域住民、飲食店等と顔の見える関係性を構築し、相談や連絡が包括へ入りやすくなるようにしていく。	通年	➡											
実施	報告														

＜計画外の取組＞

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告														
	報告														

◇今年度の重点課題

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

◇地域包括支援センター人員体制状況

[illegible]

その他の資格・・・歯科衛生士

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,263人 （令和7年1月1日時点） りゅうせん 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	個別課題について、地域住民や専門職等が参加し、課題解決への支援方法を検討する。また地域課題の発見へつなげていく。	2回					➡							➡	
	報告							①							②	
見守りネットワーク地区連絡会	計画	関係機関と顔の見える関係づくりを通し、見守り事業の連携強化を図る。また事例検討を通し、効果的な見守りの方法を共有し、見守り体制の充実を図る。	2回		➡									➡		
	報告				①									②		
包括支援センターの周知活動	計画	広報誌の配布やホームページの活用、ラジオ体操でのPR活動、竜泉福祉センターでの掲示、熱中症注意喚起、出前講座等により地域包括支援センターの業務を周知し気軽に相談できるようにする。	広報誌3回、ラジオ体操2回、ホームページ適宜更新	ホームページ更新 ➡➡➡												

＜ケアマネジャー支援＞ エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 27名 （令和7年1月1日時点）

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネ ジャーの集い	計 画	ケアマネジメントに必要な知識の習得や事例検討会を通しケアマネジャーの横のつながりや情報交換ができるような場の提供を行う。	4回													
	報 告															
主催・共催																

＜認知症総合支援事業＞ りゅうせん 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ （喫茶YOU）	計画	【台東病院】 認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発や認知症当事者や家族介護者の交流を目的とし、台東病院と連携協力し開催する。カフェの運営にはボランティアの協力も得て行う。台東病院内、みのわ包括窓口等で広くPRし気軽に参加できるようにする。	6回 120人		↔ ①		↔ ②		↔ ③		↔ ④		↔ ⑤		↔ ⑥	
	報告															
共催	報告															
家族介護者の会 （みのわカフェ）	計画	認知症当事者や家族介護者が気軽に集い、交流・相談できる場を提供する。認知症デイサービスや地域機関と協力しながら開催していく。	5回 50人	↔ ①		↔ ②				↔ ③		↔ ④		↔ ⑤		
	報告															
主催	報告															
認知症の知識等の普及啓発 （認知症サポーター養成講座・出前講座等）	計画	町会、学校、老人会、企業等に案内をおこない、サポーター養成講座や出前講座を実施する。9月の認知症月間に施設内でパネル展示をおこない認知症の正しい知識や最新の情報等を提供し普及啓発をおこなう。	サポーター講座・出前講座各年2回以上、パネル展示	①出前講座 ②出前講座 サポーター講座① パネル展示 サポーター講座②												
	報告															
主催	報告															
認知症初期集中支援推進事業	計画	認知症の疑いのある方に対して実態把握を迅速に行い医療機関や介護サービス、権利擁護事業等につなげ、安心して生活ができるように支援する。	1ケース	→												
	報告															
実施	報告															

＜計画外の取組＞

項目	内 容		人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	報告															
	報告															

令和 7 年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	新築の集合住宅の増加に伴い高齢者の実態把握が困難
②	認知症総合支援事業	若年層や働く現役世代に対して認知症や見守りに関する周知の機会がない
③	生活支援体制整備事業	地域住民主体の活動の場が少ない

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	新規相談の経過確認と早期アプローチの実施	計画	—	新規申請結果後の聞き取りを行い、ニーズに応じた情報提供を行う。また、新たな集合住宅の管理会社との関係を構築する。
		報告		
②	認知症に関わる事業や活動への参加を促し、活動の場を拡げていく	計画	—	認知症カフェの土曜日開催、若年層や働く世代に向けた認知症に関する講座を開催する。
		報告		
③	地域住民が主体となる活動の場の支援を行う	計画	1	社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）や地域住民と協力し、多世代が交流できる活動の場の立ち上げ支援を行う。
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和7年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40					○		○	0	○	○	1	常	40					○		○	1	○	○
2	常	40	○			○	○		○	13	○	○	2	常	40	○			○	○		○	14	○	○
3	常	40	○							2	○	○	3	常	40	○							3	○	○
4	常	40					○			8	○	○	4	常	40					○			9	○	○
5	常	40			○		○			9	○	○	5	常	40			○		○			10	○	○
6	非	40					○		○	8		○	6	常	40	○			○	○			19	○	○
7	非	40	○				○			0	○	○	7	非	40	○				○			1	○	○
8													8												
9													9												
10													10												

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,348人（令和7年1月1日時点） くらまえ 地域包括支援センター

＜ケアマネジャー支援＞ エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 32名（令和7年1月1日時点）

項目	内 容	人数・数	取組活動の経過（月）
----	-----	------	------------

＜認知症総合支援事業＞ くらまえ 地域包括支援センター

[illegible]

<計画外の取組>

[illegible]

◇今年度の重点課題

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

◇地域包括支援センター人員体制状況

[illegible]

その他の資格・・・ 4 幼稚園教諭2級 6 管理栄養士

令和 7 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
法人名 【 社会福祉法人 健修会 】

◇今年度の重点課題

①	介護予防 ケアマネジメント	包括主催の介護予防教室の運営を行っていない。
②	地域ケア会議推進事業	R6年度の地域ケア個別会議（困難事例）は包括が関わった事例であり、地域のケアマネジャーからの相談によるものがなかった。
③	生活支援体制整備事業	リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会など社会福祉協議会や地域の関係機関、団体などとの連携が求められている。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	東上野・元浅草エリア で高齢者が通える場所 づくりに取り組む。	計 画	1カ所 以上	地域包括支援センター主催または住民主体等、地域性やメンバーの特性などを考慮しながら介護予防等に取り組める身近な場所づくりを1カ所以上新たに開設する。
		報 告		
②	地域ケア個別会議（困 難事例）を開催する。	計 画	2ケ ス以上	地域ケア個別会議で検討し、課題解決につながる事例をつくることで、地域のケアマネジャーにとって頼れる存在になるよう、地域ケア個別会議の目的や活用方法など積極的に周知する。
		報 告		
③	リハビリ専門職による シルバーカーの使い方 講習会を通し、地域の 連携を強化していく。	計 画	1回 以上	社会福祉協議会の生活支援コーディネーターとより連携を図り、高齢者や介護者等が身近な場所で地域住民や関係機関（専門職）とかがわりが持てる地域づくりをすすめていく。
		報 告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士			
1	常	40			○					0	○	○
2	常	40	○				○	○	○	10	○	○
3	常	40				○	○		○	0	○	○
4	常	40		○	○		○			16	○	○
5	常	40		○	○					0	○	○
6	常	40	○						○	2	○	○
7	常	40	○							0	○	○
8	非	40			○		○			2	○	○
9												
10												

令和7年度 No.	常勤（常）・非常勤（非）	週の勤務時間（残業除く）	資格（持っているもの全てに○）							包括実務経験年数（年）	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士				その他
1	常	40	○					○	○	○	11	○	○
2	常	40					○	○		○	1	○	○
3	常	40		○	○		○				17	○	○
4	常	40		○	○						1	○	○
5	常	40	○								1	○	○
6	非	40			○		○				3	○	○
7													
8													
9													
10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 5,359人 （令和7年1月1日時点） たいとう 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	地域ケア個別会議で「相談したい」とケアマネジャーや関係者が考えていただくことができるよう周知につとめ、年間2ケースを目標に取り組む。	2回													
	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	計画	年2回の連絡会（内1回は事例検討会）を開催する。継続して民生委員と関係協力機関と見守り・地域課題等を共有しやすい関係作りを構築する。	2回 参加者50人 (延べ)													
	報告															
介護予防教室	計画	気軽に参加できるように、各エリアで定期的開催が可能な場所を探す。また、地域包括ケアシステム構築のため、地域内の事業所と連携を図り、教室開催時に協力を得る。	1ヶ所以上 (元浅草エリア、東上野エリア)													
	報告															
	計画															
	報告															

＜ケアマネジャー支援＞ エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数 28名 （令和7年1月1日時点）

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画	ケアマネジャーの資質向上を目的とした研修等を開催予定。主催ではR6年度に開催できなかった事例検討など、現場での経験に即した内容も取り入れていく。	計4回 包括主催20名/1回	<div>① ←→ ③</div> <div>①準備・開催 ③準備・開催</div> <div>② ←→ ④</div> <div>②準備・開催 ④準備・開催</div>												
	報告															
主催2回 共催2回	計画															
	報告															

＜認知症総合支援事業＞ たいとう 地域包括支援センター

項目	内 容		人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ（カフェTAITO）・オレンジカフェ開催協力	計画	隔月（奇数月）で開催する。誰でも立ち寄ることができ、参加者が交流を図ることができる場をつくる。東京都認知症疾患医療センター（永寿総合病院）主催のオレンジカフェと共催の「とびらプロジェクト」の参加協力する。	6回	カフェTAITO（準備・開催：奇数月） オレンジ：永寿総合病院の開催に合わせて												
	報告															
主催・参加																
認知症サポーター養成講座	計画	依頼先の特色やニーズに合わせた講座内容で開催する。地域住民・町会・マンション（管理組合等）などへ開催の案内・周知を行う。企業からの依頼も適宜対応する。	2回以上	周知												
	報告															
主催																
認知症初期集中支援推進事業	計画	事業の対象となる方の把握からチームで早期に介入して適切な支援ができる。	1事例													
	報告															
実施																
認知症の普及啓発活動	計画	「認知症月間」に合わせ、ポスター展示やチラシを設置する。認知症サポーター養成講座以外の講座でも 認知症の理解を深めることができるような内容を入れ込む。	通年2回以上	準備・展示												
	報告															
主催																

＜計画外の取組＞

項目	内 容		人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	報告															
	報告															

令和 7 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書

法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

①	総合事業の推進に関する事業	地域に気軽に参加できる介護予防教室の場が少ない。
②	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	地域のケアマネジャーにインフォーマルサービスが周知されていない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	包括主催の介護予防に関する教室や場を啓発していく	計画	1回	包括が主体となって行う介護予防の場や教室をほうらい地区内で開催する。
		報告		
②	主任ケアマネが地域の体操教室に参加する。	計画	1回	主任ケアマネの分科会を通して、ほうらい地区の体操教室に参加してもらえるように働きかける。
		報告		
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和6年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	介護予防ケアマネジメント※2	No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	介護予防ケアマネジメント※2			
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士						その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			介護福祉士	その他	
1	常	40	○			○				11	○	○	1	常	40	○				○				12	○	○
2	常	40	○			○		○	○	10	○	○	2	常	40	○				○		○		11	○	○
3	常	40	○						○	5	○	○	3	常	40	○						○		6	○	○
4	常	40		○	○		○			6	○	○	4	常	40		○	○		○				7	○	○
5	常	40					○	○		1	○	○	5	常	40					○	○			2	○	○
6	常	40	○							0	○	○	6	常	40	○								1	○	○
7													7													
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 5,946人（令和7年1月1日時点） ほうらい 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	地域住民や家族や本人が直面している健康や福祉に関する問題を共有できる会議を開催する。		準備・開催					①	②						
	報告			モニタリング・評価 ①												
主催	報告															
見守りネットワーク地区連絡会	計画	見守り関係者のネットワークの構築と質の高い情報の提供、および地域の課題抽出や解決方法について検討する。 9月：情報提供、2月：事例検討	2回（1回の参加者50名程度）				①	↔					②	↔		
	報告						準備・開催 報告						準備・開催 報告			
主催	報告															
生活支援体制整備事業	計画	住民主体の通いの場（富士の湯、都営アパート）に加え、近隣の高齢者が気軽に立ち寄り参加できる介護予防教室の再開を図る。	適宜（1回の参加者10名程度）	適宜												
	報告															
参加	報告															
	計画															
	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 6名（令和7年1月1日時点）

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画	地域のケアマネジャーと協力して、事例検討や情報交換の場を提供していく		←→			単独①		←→			単独③				
							←→					←→				
							合同②					合同④				
主催	報告															
地域連携をすすめる会	計画	ほうらい地区のNPO法人と協力して、地域の情報や連携の場をケアマネや医療機関に提供していく		①事務局会 2ヶ月1回 ←→ ②運営委員会 2ヶ月1回 ←→												
共催	報告															

<認知症総合支援事業> ほうらい 地域包括支援センター

項目		内 容	人数・数量など	取組活動の経過（月）																	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
認知症カフェ （あさがおカフェ）	計画	【浅草病院】認知症の本人、家族、地域住民が気軽に参加できる場を浅草病院と共催で運営する。区民館での開催を中心に、地域の寺院や飲食店など、住民に身近な場所での実施を進めていく。	6回 参加者 60名 (延べ)	➡			➡			➡			➡			➡			➡		
	①			②			③			④			⑤			⑥					
共催	報告																				
認知症 サポーター 養成講座	計画	地域住民や企業など様々な人に向けて、認知症サポーター養成講座や出前講座を実施する。9月の認知症月間に合わせて啓発活動を行う。認知症の本人が中心となって作成された各種資料を活用する。	3回 参加者 40名 (延べ)	➡			➡			➡			➡			➡			➡		
	認サポ①			啓発活動			認サポ②														
主催・共催	報告																				
認知症初期集中支援推進事業	計画	認知症の困難事例を推進員と他の職員で情報共有し、積極的に事例選定を行う。チーム員として訪問支援を行い、医療・介護サービスにつなげていく。	1ケース以上	➡																	
	①																				
実施	報告																				
認知症家族介護者教室・交流会	計画	認知症家族介護者を対象に、精神科医や臨床心理士等と連携し、家族介護者教室を開催する。認知症の人を介護している方と介護経験のある方を対象とした交流会を開催する。	6回 参加者 (延べ 35人)	➡			➡			➡			➡			➡			➡		
	交流会①			交流会②			交流会③			教室			交流会④			交流会⑤					
主催	報告																				

<計画外の取組>

項目	内 容		人数・数量など	取組活動の経過（月）												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	報告															
	報告															